

Ⅱ 事業の概要

1 食肉衛生検査状況

(1) と畜検査頭数

平成27年度における総検査頭数は86,944頭で、畜種別内訳は、牛は6,540頭(和牛1,962頭、乳牛4,578頭)、豚は80,386頭、とく10頭、めん羊7頭、山羊1頭であった。年間の1日当たりの平均検査頭数は、牛27頭、豚334頭であった。

(2) 検査結果に基づく措置

検査の結果、と体の一部を廃棄するなどの処分をした総頭数は45,273頭(総検査頭数の52.1%)であった。

ア 禁止
なし。

イ 全部廃棄

全部廃棄頭数は155頭で、畜種別では牛94頭、豚61頭であった。原因別では、豚丹毒7頭、膿毒症30頭、敗血症22頭、尿毒症2頭、高度の黄疸13頭、高度の水腫48頭、牛白血病20頭、全身性の筋肉変性12頭、全身性の出血性炎症1頭であった。

ウ 一部廃棄

筋肉、内臓の一部を廃棄したものは、45,118頭で、畜種別では牛4,836頭(処分率73.9%)、とく5頭(50.0%)、豚40,273頭(50.1%)、めん羊4頭(57.1%)であった。

(3) 病畜検査

生体検査時に起立不能、歩行困難等の異常があるなど、何らかの疾病が疑われた629頭の病畜を検査した。畜種別では、牛619頭(98.4%)、とく2頭(0.3%)、豚8頭(1.3%)であった。

検査の結果、全部廃棄処分したものは91頭(牛87頭、豚4頭)であり、畜種別の全部廃棄率としては牛14.1%、豚50.0%であった。

(4) TSE (BSE) スクリーニング検査

平成13年10月18日から全国一斉に開始されたBSE(牛海綿状脳症)検査及び平成17年10月1日から実施が開始されたTSE(伝達性海綿状脳症)検査について、平成27年度(平成28年3月31日現在)は920頭(牛912頭、めん羊7頭、山羊1頭)に実施し、それぞれ全てに陰性を確認した。

なお、規則改正により、平成17年8月1日からBSE検査では月齢が21ヶ月以上の牛、及び平成17年10月1日からTSE検査では月齢が12ヶ月以上のめん羊・山羊が対象とされていたが、本県では全頭を対象に検査を実施していた。平成25年7月1日の規則改正により、BSE検査では月齢が48ヶ月超の牛が対象とされたため、牛の全頭検査を終了し48ヶ月超の牛のみ検査を実施している。

(5) と畜検査の詳細

ア 月別と畜検査頭数

月	総頭数	牛			馬	とく	豚	めん羊	山羊	開場日数
		和牛	乳牛	計						
4	7,490	163	434	597		1	6,890	2		21
5	6,416	163	370	533		1	5,882			18
6	6,879	166	367	533		1	6,345			22
7	7,507	196	399	595		1	6,909	2		21
8	7,104	132	382	514		3	6,586		1	20
9	7,228	166	421	587		1	6,639	1		19
10	7,605	178	393	571		1	7,032	1		21
11	7,437	197	421	618			6,819			19
12	7,677	163	393	556			7,121			19
1	6,861	143	332	475			6,386			19
2	7,137	142	320	462			6,674	1		20
3	7,603	153	346	499		1	7,103			22
27年度合計	86,944	1,962	4,578	6,540	0	10	80,386	7	1	241
26年度合計	89,199	2,345	5,078	7,423	0	9	81,754	10	3	244
前年度比(%)	97.5	83.7	90.2	88.1	—	111.1	98.3	70.0	33.3	98.8

イ 月別病畜検査頭数

月	総頭数	牛			馬	とく	豚	めん羊	山羊
		和牛	乳牛	計					
4	60	2	58	60					
5	51	4	46	50		1			
6	56	4	51	55			1		
7	56	2	53	55			1		
8	53	3	49	52			1		
9	69	3	64	67		1	1		
10	56	4	50	54			2		
11	56	5	51	56					
12	43	4	39	43					
1	52	5	45	50			2		
2	45	4	41	45					
3	32		32	32					
27年度合計	629	40	579	619	0	2	8	0	0
26年度合計	623	35	575	610	0	3	10	0	0

ウ 産地別搬入頭数

産地	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊
鳥取市	567		1	2,088		
岩美町	19					
八頭町	225					
若桜町	71			475		
智頭町	20					
(東部地区計)	902	0	1	2,563	0	0
倉吉市	470			3,171		
湯梨浜町						
三朝町	76					
北栄町	388			3,529		
琴浦町	3,661		9	16,365		
(中部地区計)	4,595	0	9	23,065	0	0
米子市	12			6	1	
境港市						
南部町	150			291		
伯耆町	79			5		
日吉津村						
大山町	553			53,998	5	1
日南町	79			457		
日野町	4					
江府町	39					
(西部地区計)	916	0	0	54,757	6	1
鳥取県合計	6,413	0	10	80,385	6	1

産地	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊
兵庫						
島根	6			1	1	
岡山	15					
広島	2					
愛媛	13					
高知	91					
大分						
宮崎						
県外合計	127	0	0	1	1	0
総計	6,540	0	10	80,386	7	1

才 病類別一部廃棄頭数

区分	疾病名	豚	牛			とく	めん羊	山羊
			和牛	乳牛	計			
呼吸器系	肺炎(SEP様)	16,352	0	0	0	0	0	0
	〃(ヘモフィルス様)	1,095	0	0	0	0	0	0
	〃(その他の型)	0	67	237	304	3	0	0
	肺膿瘍	177	0	0	0	0	0	0
	胸膜炎	7,588	249	724	973	0	0	0
	小計	25,212	316	961	1,277	3	0	0
循環器系	心外膜炎	3,646	14	303	317	0	0	0
	心筋炎	0	5	25	30	0	0	0
	小計	3,646	19	328	347	0	0	0
消化器系	胃炎	0	31	180	211	1	0	0
	胃潰瘍	0	0	5	5	0	0	0
	腸炎	2,480	52	201	253	1	0	0
	腸間膜水腫	12	0	6	6	0	0	0
	腸間膜脂肪壊死	0	185	12	197	0	0	0
	腸結節虫	0	2	4	6	0	0	0
	腸間膜抗酸菌症	296	0	0	0	0	0	0
	腸気泡症	2	0	0	0	0	0	0
	肝炎(膿瘍型)	0	37	283	320	0	0	0
	〃(鋸屑肝型)	0	525	984	1,509	0	0	0
	〃(胆管炎型)	0	33	101	134	0	0	0
	〃(その他の型)	6,410	51	211	262	1	3	0
	肝包膜炎	3,303	81	330	411	0	0	0
	退色肝	532	3	97	100	0	1	0
	肝硬変	0	1	8	9	0	0	0
	肝富脈斑	0	23	137	160	0	0	0
	肝蛭症	0	3	1	4	0	0	0
	寄生肝(豚回虫)	11,519	0	0	0	0	0	0
	腹膜炎	828	4	61	65	0	0	0
	小計	25,382	1,031	2,621	3,652	3	4	0
泌尿・生殖器系	腎炎	692	142	487	629	1	0	0
	膀胱炎	2	18	36	54	1	0	0
	子宮内膜炎	2	9	88	97	0	0	0
	乳房炎	0	1	159	160	0	0	0
	小計	696	170	770	940	2	0	0
運動器系	放線菌症	0	0	1	1	0	0	0
	膿瘍	1,931	3	45	48	0	0	0
	関節炎	698	4	160	164	0	0	0
	骨折	88	2	19	21	0	0	0
	脱臼	1	10	59	69	0	0	0
	筋肉変性	134	0	0	0	0	0	0
	水腫	447	19	199	218	0	0	0
	褥瘡	0	1	49	50	0	0	0
	筋出血(打撲)	1,732	581	1,448	2,029	0	0	0
	小計	5,031	620	1,980	2,600	0	0	0
炎症による内臓全廃	424	0	0	0	0	0	0	
腫瘍	0	1	3	4	0	0	0	
黄疸	0	0	3	3	0	0	0	
	合計	60,391	2,157	6,666	8,823	8	4	0
廃棄実頭数		40,273	1,368	3,468	4,836	5	4	0

カ 病畜疾病別検査頭数

病名	畜種	豚	牛			とく	合計
			和牛	乳牛	計		
禁と 止殺		0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0
全部 廃棄	膿毒症	3	0	2	2	0	5
	敗血症	0	0	8	8	0	8
	尿毒症	0	0	2	2	0	2
	高度の黄疸	0	1	11	12	0	12
	高度の水腫	0	2	45	47	0	47
	豚丹毒	0	0	0	0	0	0
	白血病	0	4	12	16	0	16
	その他	1	0	0	0	0	1
	小計	4	7	80	87	0	91
循 吸 環 器 系 ・ 呼	心外膜炎	0	0	3	3	0	3
	肺炎	0	1	18	19	0	19
	肺膿瘍	0	0	0	0	0	0
	胸膜炎	0	0	3	3	0	3
	小計	0	1	24	25	0	25
消 化 器 系	鼓脹症	0	0	1	1	1	2
	弛緩症	0	0	0	0	0	0
	四胃変位	0	0	31	31	0	31
	創傷性胃炎	0	0	3	3	0	3
	胃炎	0	0	10	10	0	10
	腸炎	0	0	13	13	0	13
	腸間膜脂肪壊死	0	4	2	6	0	6
	腹膜炎	0	1	17	18	0	18
	肝炎	0	0	8	8	0	8
	肝膿瘍	0	0	2	2	0	2
	胆管炎	0	0	1	1	0	1
	肝硬変	0	1	1	2	0	2
	肝蛭症	0	0	0	0	0	0
	小計	0	6	89	95	1	96
泌 尿 器 ・ 生 殖 器 系	腎炎	0	0	0	0	0	0
	膀胱炎	0	0	0	0	0	0
	尿石症	0	1	3	4	0	4
	臍ヘルニア	0	0	0	0	0	0
	子宮蓄膿症	0	0	3	3	0	3
	子宮内膜炎	0	0	0	0	0	0
	子宮捻転	0	0	1	1	0	1
	子宮脱・膣脱	0	0	0	0	0	0
	脱肛	0	0	0	0	0	0
	乳房炎	0	0	80	80	0	80
	難産	0	0	2	2	0	2
	小計	0	1	89	90	0	90
運 動 器 系	骨折	0	2	16	18	0	18
	関節炎	2	4	135	139	0	141
	脱臼	1	10	56	66	0	67
	骨軟症	0	0	0	0	0	0
	膿瘍	1	1	7	8	0	9
	筋間出血	0	0	11	11	0	11
	筋間水腫	0	0	7	7	0	7
	蹄病	0	0	10	10	1	11
	フレグモーネ	0	0	2	2	0	2
		小計	4	17	244	261	1
そ の 他	放線菌病	0	0	0	0	0	0
	熱射病	0	0	0	0	0	0
	産後起立不能症	0	5	38	43	0	43
	原因不明起立不能症	0	2	7	9	0	9
	腫瘍	0	0	2	2	0	2
	その他	0	1	6	7	0	7
	小計	0	8	53	61	0	61
合計		8	40	579	619	2	629

(6) 試験室内検査実施状況

ア 行政検査（精密検査）

精密検査（と畜検査に係る検査）の実施頭数は503頭で、検査延べ件数は3,549件であった。

イ 受託検査

（株）鳥取県食肉センターから73件の委託を受けて細菌検査を実施した。

ウ 調査研究

一般病理検査、食品衛生月間に行った器具や手指のふき取り及び厚生科学研究に係る細菌検査等、合計198件の検査を実施した。

エ TSE（BSE）スクリーニング検査状況

920頭（牛912頭、めん羊7頭、山羊1頭）につきTSEスクリーニング検査を実施したが、その全てが陰性であった。

試験検査の状況

(ア) 行政検査（と畜検査に係る検査）

畜種	検査区分	検査頭数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延べ件数
牛		317	140	1392	302	96	1930
豚		186	289	1326		4	1619
合計		503	429	2718	302	100	3549
平成26年度		433	290	2527	276	97	3190

(イ) 受託検査

項目	検査区分	受託件数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延べ件数
ふきとり検査	牛	24	0	24	0	0	24
	豚	49	0	49	0	0	49
合計		73	0	73	0	0	73
平成26年度		72	0	72	0	0	72

(ウ) 調査研究

項目	検査区分	検体数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	その他	検査延べ件数
一般病理検査		11			74			74
微生物汚染防止		18		90				90
精度管理		3	0	14	0	0	0	14
厚生科学研究		0	0	0	0	0	0	0
その他		30	0	0	0	60	0	60
合計		63	0	104	74	60	0	238
平成26年度		103	0	344	101	0	0	445

(エ) T S Eスクリーニング検査状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
分類	ア 生後24ヶ月齢超の牛のうち、生体検査において運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経障害が疑われたもの及び全身症状を呈する牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ 生後48ヶ月齢超の牛	98	70	54	79	63	114	80	79	67	69	65	74	912
	ウ めん羊、山羊	2	0	0	2	1	1	1	0	0	0	1	0	8
	計	100	70	54	81	64	115	81	79	67	69	66	74	920
陽性		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 と畜場等の衛生管理指導

(1) と畜場の衛生管理

と畜場について監視を実施（平成27年度19回）し、不適事項については改善指導を行った。また、と畜場の衛生状態を把握するため、枝肉、部分肉及び器具等の拭き取り検査を実施し、検査結果に基づき衛生指導を行った。

拭き取り検査結果

区分	項目	実施回数	件数	成績	<10	10 ^{1~2}	10 ^{2~3}	10 ^{3~4}	10 ⁴ ≤
枝肉	O157	12	36	陰性36	-	-	-	-	-
	大腸菌群数 (/ c m ²)	49	761		756	5	-	-	-
	一般細菌数 (/ c m ²)	49	761		175	393	169	24	-
部分肉	大腸菌群数 (/ c m ²)	1	6		6	-	-	-	-
	一般細菌数 (/ c m ²)	1	6		-	2	2	1	1
器具等	大腸菌群数 (/ c m ²)	1	12		12	-	-	-	-
	一般細菌数 (/ c m ²)	1	12		-	-	7	4	1

(2) 食品衛生月間

食品衛生月間（8/1~8/31）に合わせて枝肉・使用器具等の拭き取り検査を実施し、食肉業者に対して衛生管理について指導した。また、と畜場入り口に垂れ幕及び立て看板を設置して来場者の衛生意識の高揚を図った。

(3) 従事者の衛生教育

と畜従事者全員を対象として、と畜場の衛生管理及び枝肉の糞便汚染防止について講習を行い、理解を深めた。

(4) 食品営業許可施設の監視指導

と畜場に併設する食肉処理業、食肉販売業、食品の冷凍冷蔵業の食品営業許可施設について監視を実施（平成27年度5回実施）し、不適事項については改善するよう指導した。

3 と畜検査データフィードバック事業

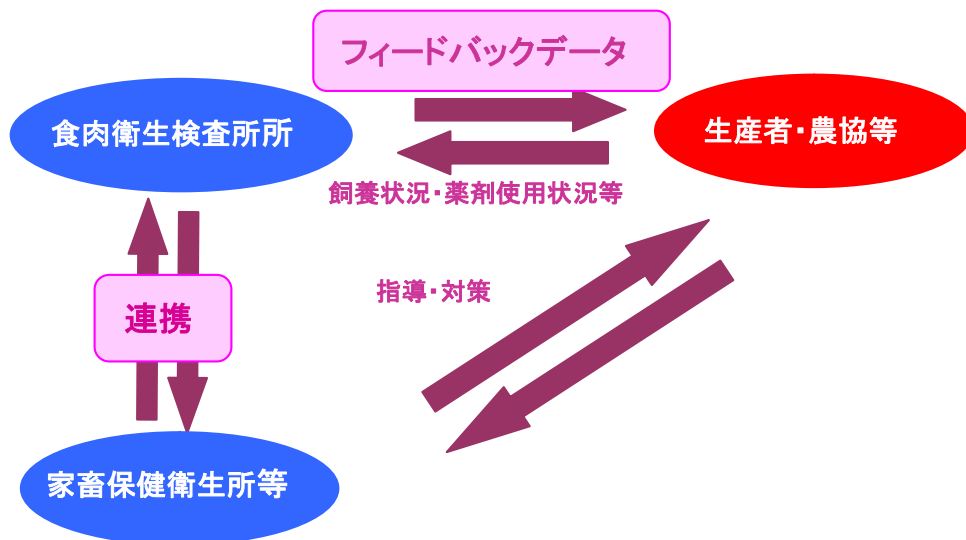
(1) 生産者等へのフィードバック

食肉の安全性確保対策の一環として、平成6年4月から検査データのフィードバック事業を継続している。

と畜検査で得た家畜の疾病状況を1ヵ月ごとのデータとして取りまとめ、家畜保健衛生所及び生産者・農協等へフィードバックしている。

当検査所、家畜保健衛生所及び生産者が連携、協力していくことで、家畜の疾病排除、疾病予防、生産性の向上につながり、ひいては安全な食肉の提供に寄与している。

検査データ還元フロー



フィードバック事業参加者数

区 分	牛	豚
家畜保健衛生所	3	3
生産者	52	27

(2) 臨床獣医師へのフィードバック

臨床獣医師が診断した動物について、検査内容にかかる問い合わせが103件あり、生産現場との連携強化を図った。

4 検体採取等の協力

依頼者	目的	検体
鳥取大学農学部共同獣医学科	牛妊娠子宮及び胎児の構造理解	牛の子宮
	家畜の体外受精に関する研究	豚及び牛の卵巣
	牛の蹄病に対するCT画像解析に関する研究	牛の後肢蹄関節
JA全農ミートフーズ(株) 鳥取営業所	西日本ジェイエイ畜産各農場における疾病 状況調査	豚の肺及び頭
鳥取県福祉保健部健康政策課	豚の感染症流行予測調査(日本脳炎)	豚の血液
(独)家畜改良センター鳥取牧場	牛の体外受精のための卵子採取	牛の卵巣
鳥取県畜産試験場	体外受精卵の効率的な生産方法の検討	牛の卵巣
(社)家畜改良事業団 家畜バイテクセンター	牛の体外受精のための卵子採取	牛の卵巣
鳥取県倉吉家畜保健衛生所	家畜人工授精の農家研修の教材	牛の子宮及び卵巣
	家畜人工授精師講習会の教材	牛の子宮及び卵巣
クラレノリタケデンタル(株)	歯科用接着材料の試験検査及び研究開発	牛の切歯
国立感染症研究所ウイルス第二部	豚のE型肝炎ウイルスの抗体保有状況調査	豚血清

5 調査研究

- (1) 鳥取県食肉センターでと畜処理される牛枝肉の拭き取り検査結果を分析するとともに、平成27年3月から枝肉の最終洗浄に導入された殺菌水の効果を検証し、微生物制御に効果的な取り扱い及び洗浄方法について提案することにより、衛生指導に役立てた。
- (2) と畜検査において全身性腫瘍の認められた豚1頭(大貫)について、免疫染色を実施することによりB細胞性リンパ腫である豚の白血病と診断した。

6 食肉衛生検査所PR事業

平成27年度には下記の視察・研修を受け入れ、事業説明・PR等を積極的に行った。

視察・研修会の概要

月 日	来訪団体名等	研修会	受講者数
7月23日	鳥取大学農学部獣医学科 5年次学生及び担当教官	公衆衛生学実習	40名
7月24日	米子南高等学校生徒及び担当教諭	工場見学研修	20名
8月28日	倉吉北高等学校生徒及び担当教諭	食品衛生学研修	8名
8月31日～ 9月3日	日本大学生物資源科学部獣医学科 学生	インターンシップ研修	2名
1月12日～ 1月15日	江原道家畜衛生試験所職員	インターンシップ研修	1名
合 計		5回	71名